

# 第1回土木科学シンポジウム開催案内

## ～ 新潟大学異分野融合(U-go)プロジェクト ～

2018年11月30日（金）於 新潟ジョイアミーア（新潟市中央区）

### 【実行委員会】

安田 浩保

新潟大 災害復興研  
水工学

早坂 圭司

新潟大 理学部  
素粒子実験物理学,ビッグデータ

大竹 雄

新潟大 工学部  
設計論、地盤工学

村松 正吾

新潟大 工学部  
信号処理

### 【主催・後援】

主催

ARCEプロジェクト

後援

新潟大 BDA研究センター  
新潟大 URA  
新潟大 地域連携推進機構

### 【問合せ先】

安田 浩保

hiro@gs.niigata-u.ac.jp

### 【研究会サイト】

<http://rde.nhdr.niigata-u.ac.jp/lab>



新潟大学は異分野融合の推進強化のために研究支援制度U-goグラントを2016年に創設し、その一つとして自律的河川制御工学(ARCE)プロジェクトを開始しました。発足から2年が経過し、本プロジェクトにおける具体的な成果が得られるようになってきました。また、頻発する自然災害に対し、本年7月に全国知事会は「北海道宣言～日本の防災・減災対策を新たなステージへ～」を発表しました。しかし、現在の科学技術では不確実性の下での意思決定が難しく、同宣言に対応するための具体的な科学技術は未確立です。そこで、ARCEプロジェクトの構成メンバーにより議論を重ね、本プロジェクトの目標を当初の河川災害の軽減だけから、人類の理想である様々な自然災害を無害化する「**土木科学**」の確立という高い目標へと改める決心をしました。土木科学とは、最新の科学技術の導入により、既存の土木工学に混在する種々の経験的手法を科学的手法に転換することで不確実性を縮減し、社会活動における自然災害の脅威の除去や生産性を飛躍的に向上させることを目的とした新しい学問です。

そのキックオフイベントとして、11月30日16時30分から、第1回土木科学シンポジウムを企画しました。本シンポジウムでは、U-goグラントによる研究プロジェクトをきっかけとした多くの新しい研究成果と、新しく見出された研究の方向性について参加者の皆さまと共有したと考えています。今回のシンポジウムでは、本プロジェクトがこの数年間中心的に取り組んで来た拡縮工法の複数河川における適用検討と予防工法としての応用、本年8月から新たに開始した宇宙線を用いた堤体内部の透視技術の開発、次世代型の危機監視技術の進展、前述の北海道宣言に関連する検討委員会への学識者としての協力、などについての話題提供を予定しています。また、土木科学に今後について、様々な立場の参加者の皆さまとの忌憚のない意見交換も予定しています。多くの皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

### 日時・会場

- 11月30日（金） 16:30-18:00
- 新潟ジョイアミーア  
〒951-8065 新潟県新潟市中央区東堀通7番町1016-1  
東堀斎藤ビル東堀パーク600 1F

### スケジュール

- 16:30-18:00 勉強会
- 18:30-20:30 懇親会

### 参加方法

- 勉強会  
事前登録は不要です  
参加費 無料
- 懇親会  
事前登録が必要です  
参加費 5,000円



西日本豪雨で氾濫した小田川により広範囲に浸水した真備町。高密度の河道内の樹林が浸水被害を助長させたことが推測されている。